

# 加賀検定

## 第4回 加賀ふるさと検定試験問題

上級（全60問）

2016年 11月27日

加賀ふるさと検定・おもてなし講座実行委員会

各問題に対して、それぞれ①～④までの選択肢の中に正解が1つあります。解答用紙に、正解と考える番号を1つだけ○で囲って下さい。(黒色のエンピツもしくはボールペンを使用のこと)

- 1 宮地向山遺跡は旧石器時代の遺跡で、ここからは、玉髓や珪質岩などの硬い石材で作られた( )や搔器などが見ついている。  
①石槍 ②尖頭器 ③石刃 ④礫器
- 2 ( )からは、無数の貝類や土器片、県内最古の人骨などが出土した。なお、土器が関西の影響を受けた北白川式土器であったことから、縄文早期の終わり頃から前期にかけての遺跡と推定される。  
①柴山貝塚遺跡 ②新堀川遺跡 ③柴山水底貝塚遺跡 ④保賀遺跡
- 3 潮津上出遺跡からは、多数の縄文後期後半から晩期の土器片が多数出土した。また、流紋岩・黒曜石・オパール・瑪瑙・頁岩などを材質とする( )が3千点余り発見され、他地域との幅広い文化交流があったことが考えられる。  
①石鏃 ②石斧 ③石錘 ④石錐
- 4 「北陸の登呂遺跡」と称される猫橋遺跡からは、数多くの木製品や土器が出土した。また、土器の形式から、( )文化圏との結びつきが強いことも判明した。  
①関西 ②瀬戸内 ③山陰 ④九州
- 5 分校カン山1号墳は全長およそ( )mの前方後円墳で、その棺からは「きょしもんえんほうかくきくししん鋸齒文縁方格規矩四神鏡」と称する南加賀最古の中国後漢時代の鏡が発見された。  
①35 ②55 ③75 ④95
- 6 ( )は、南北朝期に、莊園の年貢の半分を武士に与えるという半済処分を受け、その結果、半分が富樫氏の守護領となり、有力庶流が入部した。  
①山代庄 ②福田庄 ③富墓庄 ④矢田庄
- 7 応永21年、14世遊行上人( )が潮津道場で法要を開いた時、源平合戦で討ち死にした斎藤実盛の霊があらわれて、仏法に皈依したという。この話をもとに世阿弥が謡曲『実盛』を著した。  
①智得 ②託阿 ③自空 ④太空
- 8 山田光教寺の2世ほごのうらがき顯誓が著した『反古裏書』によれば、荻生願成寺・河崎専称寺・( )・宮越仰西寺の4ヶ寺は、越前藤島の超勝寺が開創されたと考えられる応永14年以前から、加賀の本願寺派寺院であったという。  
①新郷専光寺 ②出雲路毫撰寺 ③長崎称名寺 ④敷地空善寺
- 9 弘治元年、越前の朝倉宗滴が一向一揆を潰滅させようと加賀へ大挙して侵入した。これは、同じ一揆勢を滅ぼそうとしていた( )との同盟に基づいた出陣であった。  
①武田信玄 ②上杉謙信 ③織田信長 ④浅井長政
- 10 永禄10年、越前一乗谷に滞在中の足利義昭の仲介で、一向一揆勢と朝倉氏との間で和睦が成立し

た。その結果、江沼郡の一揆方の柏野・松山両城と、朝倉氏方の( )・檜屋・大聖寺の3城が破却された。

- ①南郷城      ②千足城      ③黒谷城      ④津葉城

11 大聖寺城主溝口秀勝は、慶長3年4月に越前北庄城主( )の越後(新潟県)春日山への移封に伴い、同新発田に移動した。

- ①柴田勝家      ②堀 秀治      ③小早川秀秋      ④丹羽長秀

12 大聖寺城主の山口玄蕃宗永父子は、慶長5年8月3日に金沢城主前田利長と戦い、大聖寺城内で自決した。利長軍の中では、鐘ヶ丸の戦いで、特に( )の家臣が多く戦死した。

- ①長 連龍      ②横山長知      ③太田長知      ④前田利政

13 大聖寺藩祖前田利治は、万治3年4月 21 日に江戸で死去した。このとき、中沢久兵衛、小沢三郎兵衛、小栗権三郎の3人が殉死したが、小栗は5月2日に( )で自害した。

- ①宗英寺      ②久法寺      ③全昌寺      ④寛慶寺

14 大聖寺藩主2代前田利明は、万治3年8月に越中新川郡7か村と加賀藩領の能美郡馬場・島・串など、6か村( )と交換した。

- ①4100 石余      ②4200 石余      ③4300 石余      ④4400 石余

15 大聖寺新田藩祖前田利昌は、宝永6年2月に上野寛永寺で行われた5代将軍徳川綱吉の法会において、御馳走役の大和柳本藩主( )を殺害した。

- ①織田監物      ②織田信雄      ③織田信秀      ④織田秀信

16 大聖寺藩は、文化 10 年7月に串村甚四郎の茶問屋の独占体制を廃し、一時的に大聖寺町の( )を茶問屋に任命した。

- ①吉田屋伝右衛門      ②大和屋七右衛門      ③矢田屋清右衛門      ④田中屋十左衛門

17 大聖寺藩では、江戸前期から中田・長谷田・上原・塚谷村の「紙屋谷」で日常紙や御料紙を生産した。御料紙は中田村の大茂谷家や( )で製造された。

- ①丸屋家      ②京屋家      ③角屋家      ④沢屋家

18 大聖寺藩の組付十村には、鋤役米(鋤米)という役料が支給された。鋤役米とは( )~60歳の男子から米2升を徴収したものである。

- ①14 歳      ②15 歳      ③16 歳      ④17 歳

19 大聖寺藩主は、参勤交代で下街道を利用したとき、必ず金沢城下に宿泊して、金沢城へ出向き藩主や重臣に挨拶するとともに( )や天徳院を参詣した。

- ①桃雲寺      ②松月寺      ③長国寺      ④宝円寺

20 大聖寺藩領の北国街道には、慶長年間に橋駅・大聖寺駅・動橋駅・月津駅などの宿駅が置かれて

いた。当時、駅馬の数は( )が最も少なかった。

- ①橋 駅 ②大聖寺駅 ③動橋駅 ④月津駅

21 伊能忠敬ら測量隊8人は、享和3年6月 24 日から 27 日まで大聖寺藩領の沿岸を測量し、大聖寺町の( )や松屋、片野村の肝煎宅、橋立村の因随寺などに宿泊した。

- ①大和屋 ②京 屋 ③吉田屋 ④板 屋

22 大聖寺藩主 12 代前田利義は、嘉永5年に西出源蔵を金沢野町に遣わし、吹屋の村山四郎兵衛に大砲の鑄造を命じた。大砲は資金不足のため( )中3挺しか完成しなかった。

- ①21 挺 ②23 挺 ③25 挺 ④27 挺

23 大聖寺藩主9代前田利之は、文政4年 12 月に加賀藩主 12 代( )の願書により幕府から 10 万石の待遇が公認された。

- ①前田重教 ②前田齊広 ③前田治脩 ④前田齊泰

24 大聖寺藩の茶道は、藩祖前田利治が茶人の近江小室藩祖小堀遠州の弟子であったことや、3代前田利直が川端御亭(長流亭)を建造したことから遠州流と( )が中心に広まった。

- ①千家流 ②南防流 ③藪内流 ④宗和流

25 明治4 年、増税に不満をもつ農民たちが( )の門前に集結し、大聖寺県の租税係などをしてきた役人たちの家を次々と打ち壊すという、いわゆる「みの虫一揆」が起きた。

- ①打越勝光寺 ②山代専称寺 ③大聖寺願成寺 ④動橋篠生寺

26 明治 11 年 7 月、江沼郡大聖寺に郡役所が設置され、その郡役所のもとに、( )の「戸長役場」が置かれた。

- ① 12ヶ所 ② 18ヶ所 ③ 23ヶ所 ④ 28ヶ所

27 「加州松島社」は、明治16年、製造した鉛筆を( )万国博覧会に出品し、第一級第一等賞を獲得した。

- ①ウィーン ②ロンドン ③アムステルダム ④パリ

28 大津事件でロシア皇太子ニコライの命を救った江沼郡出身の北ヶ市市太郎は、事件後、ロシア政府から当時の金額で( )円の報奨金が与えられた。

- ① 200 ② 800 ③ 1,200 ④ 2,500

29 片山津温泉は、明治15 年、石川郡観音堂村(現在の金沢市大野町)から井戸掘りの名人であった( )を招き、特殊な工法をもちいて掘削し、湯量を安定的に確保することに成功した。

- ① 近藤幸即 ② 広瀬次郎七 ③ 森 仁平 ④ 藤沢長三郎

30 昭和 16 年から 20 年までの太平洋戦争で犠牲となった石川県関係の戦没者は 2 万人を超えているが、このうち江沼郡の戦没者は( )人であった。

- ① 845      ② 1,223      ③ 1,536      ④ 2,455

31 明治25年の江沼郡役所の歳出を見ると、役場費・土木費・教育費・衛生費・勸業費など合計39,204円で、このうち( )費が最も多く、全体の46%を占めていた。

- ①土木      ②教育      ③衛生      ④勸業

32 日常生活が電化する以前の時代、各家庭では、バンドコと称する用具が、おもに( )で使われた。

- ①居間      ②寢床      ③座敷      ④台所

33 山代温泉の菖蒲湯祭りは、若者達が菖蒲神輿を引き回す、活気あふれる祭りである。その菖蒲神輿の総重量はおよそ( )kgだといわれている。

- ①150      ②230      ③350      ④540

34 昭和30年代頃まで、雨の日や強い日照りのときは、イグサを原料とした( )を着用する人が多くみられた。

- ①被り蓑      ②着蓑      ③蛇の目蓑      ④背当て蓑

35 昭和42年1月、大日山を登山中の石川県ユースホステル協会に所属する( )山岳会の6人が遭難し、全員死亡した。これをきっかけに、大日山に避難小屋がつくられた。

- ①はやぶさ      ②かもしか      ③うりぼう      ④しろうさぎ

36 柴山潟は、その昔、入り江であったところで、今は湖沼となっている。このような湖は( )と呼ばれている。

- ①海進湖      ②海跡湖      ③海退湖      ④残留湖

37 昭和43年に指定された「越前加賀海岸国定公園」は、加賀市の海岸部から福井県の( )までの海岸部を、その範囲としている。

- ①坂井市      ②福井市      ③敦賀市      ④小浜市

38 まきえすみあかてばこ 蒔絵角赤手篭は、2代将軍徳川秀忠の2女で、加賀藩3代藩主前田利常の正室珠姫が、菅生石部神社に寄進したもので、現在、国指定文化財となっている。その華やかな意匠や技法に( )の豪華な気風を見ることができる。

- ①鎌倉時代      ②南北朝時代      ③室町時代      ④桃山時代

39 おおぎまちてんのうしんかんごえいそう 正親町天皇宸翰御詠草は、永禄4年8月の夜の歌会において、正親町天皇が「閑見月」の題で詠んだ歌の直筆草稿で、和歌の師である( )に添削させたものである。

- ①冷泉為広      ②三条西公条      ③三条西実隆      ④冷泉政為

40 大聖寺鉄砲町の専称寺が所蔵する「絹本著色親鸞聖人絵伝」は、その裏書から、宝徳元年に本願寺7世存如上人から山代庄河崎の専称寺の( )に下付したものと判明した。

- ①親光      ②真光      ③祐信      ④仏乗

41 大聖寺藩の儒学者で、わが国の考証学派の代表として評価されている大田錦城の著作の中では、論語など儒教の古典籍について記した( )が有名である。

- ①鳳鳴集      ②疑問録      ③尚書紀聞      ④九経談

42 加賀市八日市町の「都もどり地蔵」が安置されているところは、平安時代末期の歌人西行が、同行の西住と別れたとする場所で、その後、西住は( )近くの村に住んだと言われている。

- ①杉水      ②四十九院      ③荒谷      ④大土

43 瀬越町白山神社には、北陸3県で最多の( )の船絵馬が奉納されている。

- ①15面      ②35面      ③53面      ④98面

44 橋立町の旧北前船主、酒谷長兵衛家で使われていた仏壇は、彫刻、金工、蒔絵などの製作技術に優れ、( )仏壇の最高峰のものと言われている。

- ①七尾      ②金沢      ③美川      ④三国

45 鉄の打ち出しの名人山田宗美が制作した「狛犬大置物」は、宗美の代表作となっており、明治42年に開催された( )に出品し、名誉大賞を受賞した。

- ①大阪万博      ②ニューヨーク博覧会      ③日英博覧会      ④パリ万博

46 松尾芭蕉は、元禄2年7月に「奥の細道」の旅の途中、山中温泉の湯宿泉屋に8日間逗留した。このとき、泉屋の当主久米助は( )であった。

- ①10歳      ②12歳      ③14歳      ④16歳

47 大聖寺藩士の渡辺卯三郎は初め金沢の蘭医黒川良安に学び、さらに大坂の緒方洪庵の( )に入門し、その7代塾頭を務めた。その後、卯三郎は金沢病院大聖寺出張所の顧問となった。

- ①適塾      ②古義堂      ③鳴滝塾      ④懐徳堂

48 大聖寺藩出身の絵師では、加賀藩の御用絵師を務めた佐々木泉景をはじめ、小原文英・山口梅園・小島春晁などが活躍した。佐々木泉景の作品では、( )所蔵の「群鹿図」が有名である。

- ①全昌寺      ②菅生神社      ③実性院      ④加賀神明宮

49 大聖寺藩主( )は、財政逼迫を配慮せず遊芸にふけたため、正徳2年8月に領内全域にわたる正徳一揆が起こった。

- ①前田利直      ②前田利章      ③前田利道      ④前田利精

50 大聖寺藩士の( )は折衷学派の竹内福水に学んだ後、江戸で安井息軒、京都で平田篤胤らと交わった。天保期には、大聖寺藩の学問所に出仕し、のち、藩校の会頭となった。

- ①河野通英      ②東方祖山      ③大田錦城      ④田辺明庵

51 加賀市片山津温泉出身の物理学者中谷宇吉郎博士は、世界ではじめて人工雪の結晶をつくることに

成功し、昭和16年に( )を受賞した。

- ①ノーベル物理学賞 ②日本芸術院賞 ③日本学士院賞 ④日本国際賞

52 山中温泉今立町出身の軍人、辻政信は昭和36年、参議院議員在任中に東南アジア視察のために出国し、( )で行方不明となった。

- ①インド ②ラオス ③ネパール ④カンボジア

53 加賀市大聖寺出身の衆議院議員竹田儀一は、( )内閣のときに厚生大臣となった。

- ①片山哲 ②吉田茂 ③芦田均 ④石橋湛山

54 大聖寺出身の考古学者三森定男は、昭和20年頃、太平洋戦争のために大聖寺に疎開していた際、( )を発行した。

- ①聖城公論 ②北陽新聞 ③江沼新聞 ④錦城新聞

55 加賀市橋立町出身の哲学者木村素衛は、京都帝国大学の教授時代、( )を中心としたドイツ観念論を研究し、教育哲学の体系化を行なったことで知られる。

- ①フヒテ ②カント ③ヘーゲル ④ニーチェ

56 日本最初のオフセット印刷機やグラビア印刷機などを発明したことで知られる浜田初次郎は、加賀市( )の出身である。

- ①保賀町 ②曾宇町 ③潮津町 ④小塩辻町

57 加賀市は北陸最大のブロッコリーの産地となっており、JA加賀では、平成28年2月に、ブロッコリー販売額( )突破記念式典を開いた。

- ①8千万円 ②1億円 ③1億5千万円 ④2億円

58 2代目新家熊吉は、国産による高性能チェーンの製造を決意し、昭和8年に、現在の大同工業の前身にあたる( )チェーン株式会社を設立した。

- ①国益 ②大聖寺 ③江沼 ④報国

59 明治13年「大聖寺商法会議所」が設立され、その初代会頭は( )であったことが昭和初年の新聞「聖城公論」に書かれている。

- ①石川嶂 ②前田幹 ③大沢十次郎 ④前田利鬯

60 平成25年現在の統計によれば、かが森林組合加賀支所が管轄する加賀山中地域の民有林の面積は19,796 ha であり、組合員の数は( )人となっている。

- ①482 ②838 ③1,108 ④1,585